



楽々亭通信

第 2 号
発行: NPO 法人 没イチの会・京都
令和2年10月1日号

楽々亭は第3回目を

開催いたしました

「お彼岸におもう」

本願寺派布教使

安堂芳雅

お彼岸になると田んぼの畔などに咲く彼岸花。この花の花言葉は「また会う日を楽しみに」だそうです。「また会う日」ということは、今は離れているということでしょう。

しかしお互いに見ることがなくても、葉は花を花は葉を想い合い、それぞれのいのちを生かしあい、支えあっています。

彼岸と此岸

仏教では、あちらの岸と書く「彼岸」は先立つた方々が帰ってゆかれた仏さまのおさとのりの世界、お浄土であり、対して私たちが生きているこの娑婆世界をこちらの岸、「此岸」とおさえます。

確かに私たちからは亡くなられたお方の姿を見ることも身体に触れることもかかないません。しかし、そのお方の言葉、温もり、思い出は今生きる私の中に、決して消えることのない宝物として間違いない存在します。



出会いなおす

お寺の掲示板に書かれていた言葉です。

人は去っても、その人のほへみは去らない。
人は去っても、その人の言葉は去らない。
人は去ってもその人の温もりは去らない。
人は去っても、合の手の中に帰ってくる。

先だってゆかれた大切な人は、合の手の中に今私にとつての仏さまとなつて、ここに帰ってください。

お彼岸とは、心静かに合掌し、彼岸からはたらきの中にある私であることを慶ばせていただく尊い日であります。



安堂芳雅さん



釈迦如来

楽々亭に参加して

今回、初めて参加させて頂いた私は、何も分からないうまくもありませんが、一人一人のお名前は分からなくても、いつもの方々で良かったと安堵いたしました。

皆さんの希望や体験談を、聞かせて頂き、自分にはない素晴らしい一面を知ること、羨ましくもありました。若い方が持ち前のエネルギーと実行力で社会に接していらつしゃるのがよく分かりました。応援したいです。

安堂先生のお話も私達にはわかりやすく、為になりありがたい受け止めています。

竹田美春

五智山蓮華寺
阿弥陀如来



大日如来



室生如来



薬師如来



楽々亭雑記

没イチの会へ3回目の参加となりました。

今日は何のお話をして下さるのかなあと、胸をワクワク、ドキドキさせながら家を出ました。

安堂先生、あにははか 豊あ園はらんかや、

今日はお話を短くして皆さんでお話をしていただきますとのこと。

少し気抜け感も無きにしもあらずでしたが、皆さんと打ち解けて話せるよい機会でもあるかと考え直しました。

安堂先生は先ず、PPK (ピンピンコロリ)の落ちのつくお話をしてくださいました。

広島県の女性グループが温泉旅行で途中ポックリ寺へ参拝なさったそうです。

お寺でひとりが気分が悪くなり、グループから離れて休んでいましたが、そ

のままお亡くなりになりましたと、お寺から連絡がありました。

以来、そのコースは外されたそうです。

ポックリ死を願って参拝された旅路「即効薬！」と私は瞬間感動し、喜ぶべきと思いきや、結末に吹き出しました。

現実を否定する、不思議な現象と捉えました。

安堂先生は、話し合うテーマ「生命が終わったらどうなるのかを話し合ってください」と。各自発言しながら枝葉がついて横道に逸れることもありましたが、先生は「こうなんだよ、という答えはありません」と。

最後にお話された「彼岸花」は印象的でした。

彼岸花は別名「葉見ず、花見ず」と言われ、花言葉は「また会う日まで」、また会える日まで」というのだそうです。

「彼岸花は秋の彼岸の

頃に咲き、冬の初め頃から線上の葉を繁らせ、球根に養分を与えて、春枯れる。

球根と茎には毒があるが、薬用として用いられる(一部広辞苑引用)。

彼岸花はこの様に花は葉を見ることがなく、葉は花を見ることがなく、花言葉もまた、彼岸花そのものにあてはまる言葉だと教えて頂きました。ありがとうございました。

有川ツヤ子



編集後記

第三回の楽々亭は安堂先生のお話しは短めで、その後皆さんが、今思っていることを一人一人お話しされました。とても幸せだという方もあれば、今色々悩んでいる方の発言もあり、内容の濃い会合でした。

終わってからもお互いに励まし合うグループもあり、楽しく語らうグループもあり、なかなか時間が来ても部屋が空きませんでした。

やはり生きているといろいろな事があり、それぞれの方が悩んでおられ、話すことにより少しはストレスが解消して行くのですね。次回は10月31日(土)午後1時30分から行います。

活発なご意見が聞けることを楽しみにしています。

籠谷 弘

楽々亭第4回 10月の予定

10月31日(土)

西京区役所洛西支所会議室

1時30分~3時30分

9月に開催した場所です。

裏(西側)から入って下さい。



楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。